Ramalina Almquistii WAIN. (岩石上)

Rhizocarpon geographicum (L.) DC. var. *atrovirens* MASS. ちづごけ (岩石上)

Sphærophorus meiophorus WAIN. さんごごけ (樹皮上)

Stereocaulon curtatum NYL. みやまきごけ (岩石上)

S. *exutum* NYL. きごけ (岩石上)

Thamnolia vermicularis (ACH.) ASAHINA むしごけ (地上)

Usnea diffracta WAIN. よこわさるをがせ (樹皮上)

U. *longissima* (L.) ACH. さるをがせ (樹皮上)

以上列擧シタ種類ノ大部分ハ我ガ國ノ高山ニ普通ニ見ラレルモノデアルガ、特ニ注目スベキ二三ノ種類ニツイテ簡單ニ述ベテ置ク。

とげえいらんたいもどき (*Cornicularia odontella* RÖHL.) ハ既ニ本誌第十五卷第九號ニ掲載サレタ拙著「東亞ノ地衣類(其一)」ニモ述ベテアルガ、日本ニ於テハ飯豐山デ最初ニ發見サレタダケデ、未ダ他所デ知ラレテキナイ。北歐及ビ蘇聯ノ北部ニ分布スル典型的ナ高山寒地性ノ地衣デアル。

フィリスクム・ヤポニクム (*Phylliscum japonicum* ZAHLBR.) ハ日本特産ノ珍ラシイ地衣デ、ソノ分布ニ就テハ既ニ筆者ガ本誌第十卷第十一號第 690 頁ニ圖示シ、更ニ第十三卷第四號ニモ同屬ノ綜論ヲ發表シテ置イタガ、飯豐山ノ小國口ノ中腹、長坂ノ途中ノ岩石上ニ可成多量ニ發見サレタ。東北地方デハ既ニ八甲田山デ筆者ガ採集シテキルカラ、コレガ第二回目ノ發見デアル。

あなつぶごけ (*Perforaria cucurbitula* MÜLL. ARG.) モ小國側ニアル針葉樹林帶デ採集サレタ。極メテ特異ナ地衣デアルガ、細カイタメニ見逃ガサレ、現在マデ餘リ多クノ產地ハ知ラレテキナイ。面白イコトニハ中津川口デハ針葉喬木帶ガ全ク見ラレズ濶葉喬木帶カラ直接ニ灌木帶ニ移ルノデ、本種ノ樣ニ針葉樹ニ限ツテ生ズルモノハ一切見ラレナイワケデアル。

○こにしきさうトしまにしきさう (原 寬)

最近 Contr. from Gray Herb. Harvard Univ. CXXVII, pp. 48-78 (1939) ニ L.C. WHEELER ガ米大陸ノ大戟科植物ニ關シテ述ベテキル事項ノ内、我國產ニモ關係アルモノヲ紹介シ少シク說明ヲ加ヘテ見タイ。

第一ハこにしきさうデアル。彼ハロンドンノ Linn. Herb. ニアル *Euphorbia maculata* L. ノ原標本ノ寫眞ヲ檢シテ、ソレガこにしきさうト全ク異リ、大形ノ葉ヲ持ツタ直立シタモノデアル事ヲ知ツタ。コノ原標本ハ L. ノ原記載ニモヨク一致シ、特ニ 'Folia....trinervia' ナル語ハソレガこにしきさうデナイ事ヲ現シテキル。L. ノ原記載ニハ PLUKENET ノ圖モ引用サレテキテ、コレハ一見こにしきさうトモ見エルガ疑アリ、L. ガソレニ基イテ記載シタト思ハレテキル原標本ガ存在スル以上、PLUK. ノ圖ハ重視スベキデナイト考ヘテキル (自分モ L. ノ原標本ノ寫眞ヲ見セテ貰ツタガ明カニこにしきさうデハナイ)。何故 *E. ma-*

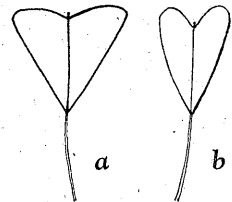
culata L. ガ廣クこにしきさう＝誤用サレル様＝ナツタカトイフト、恐ラク JACQUIN ガ Hort. Bot. vindob. II, p. 87, t. 182 (1772) ＝誤ツタ着色圖ヲ載セタモノ＝出發スルノデアラウト、ソコデ**こにしきさう**ノ學名ヲ他＝求メルト *E. supina* RAFINESQUE in Amer. Month. Mag, II-2, p. 119 (1817) ガ早イ、コレヲにしきさう屬ヘ移スト **Chamæsyce supina** (RAFIN.) HARA, **comb. nov.** トナル。

扨テソレデハ *E. maculata* L. ノ原標本ハ何ンデアラウカ、彼ハコレヲ *E. nutans* LAGASCA ト同一デアルト鑑定シ、次ノ様＝附ケ加ヘテキル。*E. hyssopifolia* L. トイフモノモ *E. nutans* ＝非常＝近クコノ兩者ハ種子ノ特徴＝ヨル以外確實ナ區別點ガナイノ＝、L. ノ標本ハ種子ヲ有シナイラシイカラ適確ナ判斷ハデキナイガ、L. ノ原標本ハ Virginia カラキタト想像サレ、而モ同地＝ハ *E. hyssopifolia* ハナイカラ、*E. nutans* デアルト考ヘラレルト。尚自分ハ本誌 XI, p. 511 (1935) デ *E. hyssopifolia* ト *E. nutans* ヲ同一種ト見做シ、我國＝歸化シテキルおほにしきさうノ學名ヲ *Chamæsyce hyssopifolia* トシタガ、今彼ノ意見＝リコノ兩者ヲ區別スルトおほにしきさうハ *E. nutans* ノ方ノ形デアリ、從ツテ *E. maculata* L. ノ原標本ト同一物デアル。故＝コノ名ヲにしきさう屬＝移シタ **Chamæsyce maculata** (L.) SMALL ハ**おほにしきさう**ノ學名トナル。

次ハしまにしきさうノ學名デアル。コノ問題ノ經緯ハ既＝ THELLUNG (1917) ＝ヨリ可成リ詳シク述ベラレテ居テ自分モ先年ソレ＝從ツタノデアルガ、彼ハ今別ノ觀點カラ *E. hirta* L. ヲ採用シ、ソノ理由ヲ次ノ如ク述ベテキル。先ヅ *E. hirta* L. ト *E. pilulifera* L. トガ同一種デアルカ否カ＝關シ二通リノ考ヘ方ガアル、一ハ L. ガ原記載デ引用シタ文獻ヲ基礎トシテ解釋スル場合デアル。コレ＝ヨルト *E. hirta* ハ BURMANN ノ Thes. Zeylan. 223, t. 104 (1737) ヲ、*E. pilulifera* ハ同著 224, t. 105, f. 1. ヲ引用シテキテ、コノ二ツハ共＝しまにしきさうデアリ、同一種ト考ヘラレル。故＝現行命名規約デハコノ二名ヲ最初＝合一シタ人ノ意見＝從ツテ學名ヲ決定スベキデアルタメ、GRISEBACH, Fl. Brit. W. Ind. Is. p. 54 (1859) ガ最初ノ文獻ト考ヘラレ、彼＝從ツテ *E. pilulifera* ガ正シイ事＝ナル（コレガ THELLUNG ノ意見デアツタ）。第二ハ Linn. Herb. 中＝アル標本ヲ基準トスル考ヘ方デアル。Linn. Herb. 中＝ハ前記兩種ノ標本ガ現存シ、ソレ＝ヨルト *E. hirta* ハしまにしきさうデアリ、*E. pilulifera* ハ別種デアル。コノ事實ハ THELLUNG モ既＝認メテキルガ、*E. pilulifera* ノ原記載ハ標本＝基イテ書カレタモノデナイト考ヘタ。併シコノ事＝ハ何等ノ證據ガナク、'pedunculis bicapitatis' ノ語モ BURMANN ノ圖カラ書イタカモシレナイシ、又 L. ノ標本カラ書ク事モ同程度＝可能デ、コレヲ一方ナリト斷定スル理由ガナイ。而シテコノ L. ノ標本ハ 1753 年當時既＝ L. ノ手元＝アツタ事ハ確實デアリ、從ツテコノ標本ヲ基準トシテ解決スル方ガヨイト述ベ、カクスルトしまにしきさうノ學名ハ *E. hirta* L. トスベキデ *E. pilulifera* L. ハ米大陸産ノ *E. glomerifera* (MILLSP.) WHEELER ＝近イ別種デアルトシテキル。コレヲ要約スルト、*E. hirta* L. ハ原記載＝引用サレタ文獻モ又 Linn. Herb. ＝アル原標本モしまにしきさうデアル。一方 *E. pilulifera* L. ハ引用セラレタ文獻ハしまにしきさうヲ指スガ、L. ノ手元＝當時カラアツ

タ標本ハ別種デアリ、コノ際標本ヲ基準トシテ考ヘ、コレヲしまにしきさうニ用フベキデハナイトイフ事ニナル。L. ノ Sp. Pl. 等ニ出テキル種類ヲ解釋スルニ當ツテハ各々ノ場合ニ適應シタ考ヘ方ヲスル事ガ大切デアリ、Linn. Herb. ニ若シ L. ガ記載シタ當時カラノ標本ガアリ、ソレガ原記載ニ一致スル場合ニハ、ソノ標本ヲ基準トシテ解決シ、引用文獻ハ參考ニ止メルベキデ、Linn. Herb. ニ當時カラノ標本ガナイ場合ニノミ引用文獻ヲ基準トシテ解釋スルトイフノガ現今一般ニ認メラレ、自分モコレヲ妥當ト考ヘテキル。從ツテコノ場合ニモ**しまにしきさう**ノ學名ハ **Chamæsyce hirta** (L.) MILLSPAUGH ガ正シク、**てりはにしきさう**ハ **C. hirta var. glaberrima** (KOIDZ.) HARA, **comb. nov.** (*E. hirta* var. *glaberrima* KOIDZ.) トナル、尙 WHEELER ハしまにしきさうハ米大陸原產ト考ヘ、アジアヘハ移入サレタモノトシテキル。

○なづなノ果實ノ形—草木手帖 No. 5 (木村陽二郎)

伊賀上野ノ黑川喬雄氏ヨリ上野町デ採集サレタなづなヲ草木研究會ニ送ラレタ。附記ニ「此ノなづなノ果實ノ形ハ少々變ニ思ヒマス」トアリ、ナルホド日本デ普通ノなづなノ果實トハ異ルノデアル。卽チコノ果實卽チ小莢果 Silicula ガ細長ク、東大植物學教室ノ內地及ビ小笠原島產ノなづなニハコノヤウナ形ハナクテ稍〻三角形ヲナシテキル。臺灣ヤ滿鮮デハ然シ小莢果ノ長イ方ガ普通デアリ歐洲ノモ同樣デアル。なづな *Capsella Bursa-pastoris* (L.) MEDICUS ノ變種品種ハ葉ノ切レ込ミ方ヤ果實ノ形ヤラ色々ソノ場ソノ場デツケラレテキテ統一アル名稱ガ無イカラ內地ノ植物ダケ見テ變種、品種ヲ記載スル事ハ無理デアル。ERNST ALMQUIST ノなづなノ研究 Studien über die *Capsella Bursa-pastoris* (Acta Horti Bergiani IV, no. 6, pp. 1-91, 1907) ヲ見ルニ 65 ノ基本種 (element species, Elementararten) ガアリ、筆者ノ手ニハ扱ヒカネル難物デアル。

Capsella Bursa-pastoris ノ小莢果 (×2). a ハ內地ノ普通型、b ハ黑川氏採集ノモノ.

〔正誤〕 本誌前號 (16 卷 1 號) ノ 11 頁 10 行 Ptamogeton ハ Potamogeton, 35 頁 4 行 polyta ハ polita, 39 頁 21 行 Locostea ハ Lacostea, 58 頁 17 行, 22 行, 及ビ下ヨリ 4 行ノ alpicora ハ alpicola, 59 頁ノ下ヨリ 3 行 Stylax ハ Styrax ノ誤植ニ就キ訂正ス。